

HIC 通信

Vol. 106

October 2019

Hiroshima
International
Center



参加者とボランティアの皆さん集合写真
(2019年8月28日～30日、留学生のための伝えるHIROSHIMAプロジェクト)



目次

P2 会長挨拶
医療通訳

P3 災害時訓練

P4 留学生を採用するに
あたってのポイント(在留資格)

P5 事業報告
交流部
留学生活躍支援センター

P8 新しい国際交流員紹介
インターンシップ/企業見学ツアー

P9 メキシコ選手団と市民との交流

P10 コラム
Hello Hiroshima
イベント・講座案内
Upcoming Event News

P11 JICALレポート
こちら JICA デスク



新会長就任挨拶

Presidential address

ひろしま国際センターは、広島県の国際交流を一層推進することを目的に平成元年1月に広島県、県内市町村、企業・団体及び県民の出捐により設立されました。

以来およそ30年、外国人相談窓口や市町の取り組み支援など多文化共生社会の推進、平和に貢献する国際人材の育成、外国人留学生の受け入れと居住・就職等の支援、地域資源を活用した研修事業を通じた国際協力など、幅広い取り組みを進めてまいりました。

今後は、こうした取り組みの着実な推進を通じて、海外の優秀な人材が本県で活躍できる環境づくりを進めながら、県民の皆様が国籍の違いを越えて、互いの文化や考え方を尊重し、安心して快適に暮らすことのできる、共生社会の実現に向けて寄与して参りたいと考えております。

引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和元年 7月2日

会長 佐々木 茂喜

HIC医療通訳ボランティア派遣事業の運用計画の一部変更について

1.運用計画（変更後）

| | |
|--------------|--|
| 正式運用に向けた準備運用 | ・実証（試験）運用（⇒ 運用開始後概ね1年を事業の普及・浸透を図るための期間とする。） ・検討運用（⇒ 正式運用に向けた検討のための期間とする。） |
| 正式（本格）運用 | 令和3年4月1日から |

2.準備運用（実証運用及び検討運用）の計画

(1) 派遣対象の地域

| 地域 | 正式運用に向けた準備期間 | |
|---------|--------------------------------|---------------|
| | 実証期間 | 検討期間 |
| 広島市 | H30年11月～R元年11月末 | R元年12月～R3年3月末 |
| 廿日市市 | H31年4月～R2年3月末(保健機関は平成30年11月から) | R2年4月～R3年3月末 |
| 県東部4市2町 | R元年9月～R2年8月末 | R2年9月～R3年3月末 |
| 東広島市 | R元年10月～R2年9月末 | R2年10月～R3年3月末 |

※正式運用に向けた準備期間中、この事業の趣旨に賛同し、この事業の利用を希望する医療機関等がある地域に対しては、医療通訳ボランティアを派遣する方向で検討する。

(2) 派遣依頼者の費用負担の軽減 正式運用に向けた準備期間（実証期間及び検討期間）においては、ボランティアに対する協力金及び交通費相当額は、ひろしま国際センターが全額負担する。

(3) その他 医療機関や保健機関等からの意見・要望は、正式運用に向けた制度見直しに反映させる。

災害時の外国人への多様性と包括的な対応訓練

9月8日（日）に安芸高田市民文化センターにて、安芸高田市国際交流協会主催で「災害時の外国人への多様性と包括的な対応訓練」が開催されました。

この事業は当センターの助成金補助事業でもあり、後援事業でもあります。

当日は10カ国48名（日本人8名を含む）の方が安芸高田市内外から参加されました。

訓練では参加者が4つの班に分かれて、班毎に「やさしい日本語の使い方」、「防災アプリの使い方」、「簡易ベットの作り方」、「巡回班による聞き取り」の4つの防災体験をされました。



巡回班による聞き取りの様



やさしい日本語の使い方の様



防災アプリの使い方の様



簡易ベットの作り方の様

お昼には避難所運営班の方が準備した非常食が配給され、非常食を食べながら班ごとに色々な国の方どうしコミュニケーションを取っておられました。

また、配給場所には各非常食に含まれる食材や調味料が多国語で掲示されており、複数の中から選択ができるのでアレルギーの方も安心して食事できるようになっていました。



非常食の食材表示表



班ごとの食事風景

午後からは最初に安芸高田市長から参加者へのお礼挨拶に続き、災害時の対応と題して実際に災害に直面した時の情報収集の重要性と非難方法についての説明、さらに昨年の安芸高田市で実際に起きた豪雨災害状況について被災写真を基に担当の方から説明がありました。

最後に「ふりかえり」の時間が設けられ、講座や訓練を受けた参加者の方より感想、コメントをいただき終了されました。



浜田市長挨拶



災害時の対応講義

留学生の就職できる業種が拡大されました！

「出入国管理及び難民認定法」の一部が改正され、今年4月1日から新たな在留資格「特定技能」が新設されたことは広く知られるところとなりました。

しかしながら、5月30日に法務省告示「出入国管理及び難民認定法第七条第一項第二号の規定に基づき同法別表第一の五の表の下欄に掲げる活動を定める件」の一部が改正され、日本の大学・大学院（以下「大学等」という。）を卒業した外国人留学生の就職できる業種が拡大されたことはあまり知られていません。

外国人留学生が日本企業に就職する場合には、在留資格を「留学」から就労可能な在留資格に変更をする必要があり、大学等で専攻した科目が従事しようとする業務に必要な知識や技術に関連しているかどうかが問われます。

多くの留学生は、在留資格のうち「技術・人文知識・国際業務」の在留資格に変更して日本で就労しています。この「技術・人文知識・国際業務」の在留資格は、語学力を活かす仕事、技術を活かすエンジニア、外国人ならではの感性を活かすデザイナーや語学教師などの職務しかできず、一般的なサービス業務や製造業務などがメインとなる職務は認められません。

5月30日の法務省告示の一部改正により「特定活動 46号」という新しい活動内容が追加され、日本の大学等を卒業し、高い日本語能力を有する人は、大学等で習得した広い知識・応用能力や高い日本語能力を活かせる仕事であれば、これまで就労が

認められていなかった製造業等の現場勤務や飲食店、スーパー、コンビニエンスストアなどのサービス業の現場での就労が可能になりました。

「高い日本語能力を有する人」とは、①日本語能力試験N1又は②BJTビジネス日本語能力テスト480点以上を有する人、③日本の大学等で「日本語」を専攻して大学を卒業した人などです。

また、この特定活動での就労には、フルタイムの職員として日本人と同等以上の報酬額で雇用されることが必要です。

なお、46号特定活動取得者の扶養配偶者や子どもについても「特定活動」（47号）の在留資格で日常的な活動が認められます。



外国人留学生に係る入国・在留手続研修会（6月14日開催）

【具体例】

- 飲食店の店舗において、外国人客に対する通訳を兼ねた接客業や日本人客に対しても接客を行う。（厨房での皿洗いや清掃にのみ従事することは認められません。）
- 工場のラインにおいて、日本人従業員から受けた作業指示を技能実習生や他の外国人従業員に対し外国語で伝達・指導しつつ、自らもラインに入って業務を行うもの。（ラインで指示された作業にのみ従事することは認められません。）
- 小売店において、仕入れや商品企画等と併せ、通訳を兼ねた外国人客に対する接客販売業務を行う。併せて、日本人客に対する接客販売業務も行う。（商品の陳列や店舗の清掃にのみ従事することは認められません。）
- ホテルや旅館において、外国語によるホームページの開設・更新作業、外国人客への通訳・案内、他の外国人従業員への指導を兼ねたベルスタッフやドアマンとして接客、それに併せて日本人客に対する接客を行うことを含む。（客室の清掃にのみ従事することは認められません。）
- タクシー会社で、観光客（集客）のための企画・立案を行いつつ、自ら通訳を兼ねた観光案内を行うタクシードライバーとして活動するもの。それに併せて、通常のタクシードライバーとして乗務することを含む。（車両の整備や清掃のみに従事することは認められません。）
- 介護施設において、外国人従業員や技能実習生への指導を行いながら、外国人利用者を含む利用者との間の意思疎通を図り、介護業務に従事するもの。（施設内の清掃や衣服の洗濯のみに従事することは認められません。）

【参考資料】 法務省ホームページの「留学生の就職支援のための法務省告示の改正について」、「留学生の就職支援に係る「特定活動」（本邦大学卒業等）についてのガイドライン」（出入国在留管理庁、令和元年5月作成）

問合せ先：法務省広島出入国在留管理局就労・永住審査部門（電話082-221-4412）

交流部

Report 1 「ひろしま外国人多言語総合相談窓口」がオープンしました。

8月8日（木）、関係の皆様にご臨席いただき、「ひろしま外国人多言語総合相談窓口」の開所セレモニーを行いました。

外国人労働者の受入れを拡大する改正出入国管理法が施行されるなど、今後様々な分野で、外国からの人材受入が増えていくと見込まれています。この相談窓口は、外国人の皆さんに地域で安心して生活していただけるよう、暮らしに関わる情報提供や相談対応を多言語で一元的に行うため、これまでの窓口の機能を拡充したものです。

窓口を直接お訪ねいただいても、お電話でも結構です。お気軽にご利用ください。

【お電話でのご相談の場合】TEL：0120-783-806（フリーダイヤル）

※携帯電話からもご利用いただけます。



【「ひろしま外国人多言語総合相談窓口」の概要】

| 内容 | | 日時 | 対応言語 |
|-----------|-----------|---------------------------------------|--|
| 一般（暮らし）相談 | | 月曜日～金曜日 10：00～19：00 土曜日 9：30～18：00 | 英語、中国語、ベトナム語、 韓国語、タガログ語、 ポルトガル語、インドネシア語、 タイ語、スペイン語、ネパール語 ※遠隔通訳での対応を含む。 |
| 専門相談 | 在留資格（ビザ） | 木曜日・土曜日 10：00～16：00 | |
| | 社会保険・労働条件 | | |
| | 法律・人権 | 土曜日 10：00～16：00 | |

※いずれの日も12：00から13：00までお昼休みをいただきます。

交流部

Report 2 ひろしま国際センター設立30周年記念式典及び交流会を開催

8月8日（木）ANAクラウンプラザホテル広島で「ひろしま国際センター設立30周年記念式典及び交流会」を開催しました。

当日は当センターの小野副会長より30周年記念の挨拶に続き、ご来賓を代表して田邊広島県副知事よりご祝辞をいただきました。

式典では、今年度に制定した「ひろしま国際交流サミット助成金」制度に対して、広島国際サミット加入団体より事前申請された事業（国際交流、国際理解、友好親善、国際協力などの事業）のうち、先導的・模範的な3事業に対する助成金の交付授与を合わせて実施いたしました。

30周年記念式典の終了後、引き続き同じ会場で、招待者や関係団体の方と交流会を実施しました。



交流部

Report 3 令和元年度 奨学金決定通知書授与式・第1回奨学生交流会 を開催

外国人留学生に対する奨学金決定通知書授与式・第1回交流会を7月17日（水）、ホテルセンチュリー21広島で開催しました。今年度は、企業等協力留学生奨学金46名、県民支援留学生奨学金2名、センター留学生奨学金3名、渡日等留学生支援に係る奨学金12名の計63名に奨学金を授与しました。授与式では、ご協力企業・団体から奨学生に直接、決定通知書が手渡されました。また、長年、奨学金事業のためにご支援いただいている9企業・団体に感謝の意を表し、感謝状が贈呈されました。

続いて行われた交流会では、奨学生と企業・団体及び大学関係者が懇談し、奨学生が母国の紹介や将来の目標等について語り、名刺交換を行うなど改めて支援に対するお礼を伝えていました。



奨学生代表スピーチ

ご寄付いただきました企業・団体様へ、心より御礼申し上げます

| | | | |
|--|--|---|---|
| 株式会社大創産業 マツダ株式会社 一般財団法人多山報恩会 株式会社広島銀行 株式会社あじかん 株式会社アスティ 株式会社ウッドワン カルビー株式会社 広島工場 国際ソロプチミスト広島 株式会社シンギ | 株式会社第一学習社 ダイキョーニシカワ株式会社 株式会社中国新聞社 中国電力株式会社 株式会社中電工 南条装備工業株式会社 西川ゴム工業株式会社 広島ガス株式会社 一般財団法人広島国際文化財団 広島信用金庫 | 広島電鉄株式会社 株式会社広島東洋カーブ 株式会社プロパホールディングス 株式会社マツダE&T マツダエース株式会社 マツダロジスティクス株式会社 三島食品株式会社 株式会社もみじ銀行 株式会社モルテン 医療法人社団ヤマナ会 | 株式会社いとや 賀茂鶴酒造株式会社 株式会社中国放送 株式会社テレビ新広島 一般社団法人広島県医師会 広島テレビ放送株式会社 株式会社広島ホームテレビ 株式会社社福屋 協力企業・団体一覧 (敬称略 口数順/50音順) |
|--|--|---|---|



30年連続企業・団体

国際ソロプチミスト広島
広島ガス株式会社

株式会社広島銀行
マツダ株式会社

株式会社もみじ銀行
株式会社モルテン

10年連続企業・団体

株式会社あじかん
株式会社いとや

西川ゴム工業株式会社

交流部

Report 4 「令和元年度 ひろしま国際交流サミット総会・講演会」を開催

8月8日（木）「令和元年度 ひろしま国際交流サミット総会及び講演会」を開催しました。

当日は31団体43名の会員の方の参加を得て開催いたしました。

この「ひろしま国際交流サミット」は、多文化共生社会支援事業の一環として、広島県内の国際交流・協力団体やNGO・ボランティアグループ等の情報交換・活動促進と相互連携を図ることを目的として、平成元年（1898年）11月に結成し運営しているものです。（令和元年7月末現在153団体加盟）

年1回開催する総会の中で講演会を実施しており、今年度は、株式会社JizoHat代表取締役のポール・ウォルシュ氏をお迎えし、「コミュニティと国際化」と題して、ご講演いただきました。



交流部

Report 5 グローバルキャリアセミナー(第2回)を開催しました

8月21日（水）に、「難民」をテーマに国連UNHCR協会天沼耕平様、学生団体SOAR（ソア）を講師として開催しました。第1部では、ワークショップ「いのちの持ち物けんさ」を通じ、難民が実際に直面している大切なものを失うことの喪失感を体験し、第2部では、講師の天沼さんが国連UNHCR協会に働くことになった経緯のほか、世界の難民の状況や日本での難民受入状況などについて学びました。第3部では、ワークショップや講演を通じて学んだことをもとに、「私たちにできること」の意見交換、発表を行いました。



当日は高校生を中心に24名の方に参加いただき、熱心にグループワークや意見交換をしていただきました。次回は12月7日（土）に「国際協力キャリアとJICAの仕事」（仮題）をテーマに開催する予定です。詳細はHP等でお知らせしますので、御参加ください。

留学生活躍支援センター

Report 6 8/28～30に「留学生による伝えるHIROSHIMAプロジェクト」を実施しました!



県外の大学等に在籍する留学生を広島へ招き、広島の平和や復興の歴史、文化、社会について学び、体験したことや感じたことをSNSを通じて世界に発信してもらうことにより、広島の留学環境について知ってもらうプロジェクトを2泊3日の日程で実施しました。6か国の県外留学生や県内ボランティア計34名が参加しました。



参加者からは「被爆したのは人だけではなく、被爆樹木もあったことを初めて知った」「被爆者の話を聞き平和な時代に生活している幸せを感じた」「学んだことをみんなに伝えたい」という感想がありました。

ファシリテーターを務めていただいたANT-Hiroshimaや運営のお手伝いをいただいた県内の日本人学生や留学生のボランティアのほか、関係者の皆様の協力でこのプロジェクトを成功裏に終了できました。改めてお礼申し上げます。

留学生活躍支援センター

Report 7 留学生のための合同進学説明会を開催しました!

9月3日（火）広島会場（合人社ウェンディひと・まちプラザ）及び9月4日（水）福山会場（まなびの館ローズコム）にて、（株）さんぼうとの共催による進学説明会を開催しました。



この進学説明会は、広島県内の大学、短期大学、高等専門学校へ進学してもらうことを目的に日本語学校・専門学校等に在籍する留学生を対象として開催するもので、県内外の大学や専門学校が多数ブース出展し、入試制度や出願手続などについて説明をしました。

県内からは広島会場に6大学、福山会場には5大学がブースを出展し、資料参加を含め多くの大学が参加しました。広島県留學生生活支援センターもブースを出展し、留学生の協力を得ながら、県内大学への進学の魅力や勉強の環境をPRしました。

両日とも多くの留学生が来場し、各ブースとも直接話を聞きたい留学生で賑わいました。

留学生活躍支援センター

Report 8 インターンシップを実施しました

8月20日外国人留学生を3名を当センターのインターンシップ生として受け入れました。インターンシップ事業は例年開催し、企業と留学生のマッチングを行っていますが、当センターが留学生を受け入れるのは今回初めてでした。

3名とも中国からの留学生で、午前中はセンターの概要を説明し、午後からは「イベントの告知プランを考えよう」というテーマでグループワークを行いました。「留学生が参加したいと感じるチラシとは?」「どうやって情報を届けるか?」などを議論し、最後に発表をしてもらいました。私たちでは思いつかない留学生目線の提案もたくさんあり、これらは今後の事業にぜひ活用していきたいと思えます。

インターンシップ生が提案したチラシは、11月29日(金)に開催する「外国人留学生 就職支援交流会」の広報で使用します。完成後、当センターのHPやFacebookにも掲載いたしますので、是非ご覧ください!!

HP><https://www.int-students-hiroshima.jp/>
Facebook><https://www.facebook.com/hints.c>



発表の様子



チラシの提案

新しい国際交流員紹介

後藤ハーシグ彩さん (アメリカ出身)

Hello,nice to meet you !

はじめまして!アメリカのカリフォルニアから参りました後藤ハーシグ彩です。今年の8月から、広島県国際課とHICで国際交流員として勤務しています。漢字の姓と名の間にカタカナのセカンドネームがあるのは、私が日本人とアメリカ人のハーフだからです。東京で生まれて、二歳の時にサンフランシスコへ引っ越し、それからずっとアメリカに住んでいました。

サンフランシスコのことを知っている方は、ゴールデンゲートブリッジやアルカトラズ島、ドラマ「フルハウス」に出てくる家などを聞いたことがあるかも知れません。しかし個人的には、近くにあるヨセミテ公園でのキャンピング、サンフランシスコ湾でのホエールウォッチングやサップがお勧めです。皆様、機会があれば是非遊びに行ってください。

一ヶ月前に広島へ引っ越ししてきましたが、広島へ来たことはこれまで一度しかありませんでした。この機会に広島市内だけでなく、広島県内の眺めが良い場所や、美味しいお店、地元の穴場にも行ってみたいと思っています。ぜひ私に、皆様のお勧めを紹介してください。

国際交流員として勤めたかった理由は、父親の家族が神奈川県に住んでいるからです。神奈川には幼いころから何度も遊びに行き、日本との強い繋がりができました。今ではそれを本当に感謝しています。

両親は日本語がペラペラなのに家では英語しか使わなかったため、高校に入った頃、私は親戚との言葉の壁を以前より感じるようになってきました。それが、私が日本語に興味を持ち、日本語の勉強を始めた切欠です。日本語を勉強したおかげで大事な家族との繋がりが深まり、外国語や文化交流が人の人生に大きな影響を与えることが少し分かってきました。その後、大学では日本語や国際関係について勉強することになり、留学や研究だけでなく、今では仕事でも日本に何回も訪問するようになりました。

今後、広島県の皆さんと言語や文化で交流することで、仲良くなっていきたいと思っています。英会話を勉強したい方、アメリカについて質問したい方は、是非私に声を掛けてください。

それでは、皆様にお会いできる日を楽しみにしております。



メキシコ選手団と市民との交流

いよいよ開催まで1年を切った東京オリンピック!

メキシコ選手団のレスリング・ゴルフ・卓球競技の事前合宿地である東広島市では、7月14日から26日の間、昨年度に続いてゴルフ選手団7人が強化合宿を行い、市内ゴルフ場などで練習試合やトレーニングに励みました。

選手は、ひろしま国際プラザ(東広島市鏡山)に宿泊し、日本文化体験や市民との交流プログラムも楽しみました。

日本文化体験

書道 7月17日(水)

お手本をもとに、それぞれ会心の作を書き上げました。



茶道 7月23日(火)

薄茶をいただき、初めて体験する抹茶の味に皆さん一様に驚いていました。



市民との交流

オタフクソース(株)の方からお手本を見せていただいた後、公募で参加いただいた14人の市民の皆さんと一緒に好み焼きを作って食べながら交流しました。

みんなで焼こう! お好み焼き体験

7月15日(月・祝)



公募で参加いただいた市民の皆さん43人と浴衣姿の選手が7グループに分かれて、射的、ヨーヨー釣り、盆おどりなど日本の夏祭りを体験しました。また、メキシコの「ピニャータ」と呼ばれるくす玉人形を、子どもたちが歌に合わせて、順番に叩いて割る遊びも行いました。割れた「ピニャータ」から出てきたお菓子を子どもたちが夢中で拾い集め、大いに盛り上がりました。

お祭り Hiroshimana(ひろしまーな!) 日本の祭りを楽しもう!

7月21日(日)



Hello Hiroshima

Vol.106 October 2019

A Little Visitor

Here begins my first Hello Hiroshima article! Hello everyone! I have always dreamed of getting the chance to live in Japansince I was little, and here I am! I actually had never come to Hiroshima Prefecture before moving here a month ago, so I was unsure what to expect before I arrived. However it has truly been amazing so far, and I am so grateful that I was lucky enough to get placed here! I live right by the Peace Park, and walk through it every day as I commute to and from work. My favorite is sitting on the benches under the trees overlooking the river, and crossing the bridge while looking up at the sunset sky. We often brag in my home state California that we have the best sunsets, but I think Hiroshima has outdone us on this one. However, despite the Peace Park being such a peaceful and beautiful place, the presence of the A Bomb dome is a constant sobering reminder of the area's darker past. I appreciate having to walk past it on my way home every day, as it is an important reminder for all, and something everyone should see at least once in their lifetime. Despite walking past the A Bomb dome every day, one time in particular stands out in my mind. Last week, I was heading home from work at around sunset, and stopped to read the plaque in front of the dome as I walked past. However as I was doing so, I suddenly felt a small pressure on my fingers. I

looked up, and a small green leafhopper had jumped onto my hand. It stayed for a while, just relaxing there and cleaning its face with its little antenna. I know this might seem insignificant, but for me in that moment, I was very moved, and waited to go until he finally flew away. It was just beautiful to see nature thriving so innocently right next to the A Bomb dome, a reminder of how once no life was able to thrive in this place, most definitely not a little leafhopper. The resiliency of nature is incredible, and especially in such a tumultuous time in terms of our planet and nature's health, while I know this little leafhopper is infinitesimal in the grand scheme of things, it was very heartening to see. Often the moments that are experienced by the most people or garner the most attention, get lauded as having the most significance. However, sometimes the memories that have the most impact are the quiet individual experiences no one else notices, of simply a little visitor flying by on a summer evening.



Upcoming Event News

チャリティ・ウォーク「広島市の西国街道を歩く」

猿猴橋～京口門の西国街道を歩きます。ウォーキングを楽しみながら、参加費をユニセフ募金として、世界の子どもたちを支援するイベントです。どなたでも歩きやすいルートです。ご家族やお友達とお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください!

日 10月19日(土) 時 10:30～12:30
場 広島駅前大橋北詰(福屋駅前店南側河岸)
料 18歳以上 300円(ユニセフ募金として) 定 30名
問 広島県ユニセフ協会 担当者:高田 和美 TEL:082-231-8855
mail: unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

国際フェスタ2019

今年20回目を迎える「国際フェスタ2019」は、主に広島市内で国際交流・協力活動を続けている市民団体・企業などが中心となって、世界の屋台やバザー、体験コーナー、セミナー、20回記念行事として世界の音楽と舞踊のステージ等を開催します。また、ゲストにアルピニストの野口健さんをお迎えして、講演していただきます。様々な外国文化に触れ、異文化を体験していただける内容となっています。

日 11月17日(日) 時 10:00～16:00
場 広島国際会議場 費 無料
問 (公財)広島平和文化センター 国際部国際交流・協力課
担当者:門井
TEL:082-242-8879 mail: internat@pcf.city.hiroshima.jp

(公財)ひろしま国際センターでは、JICA中国、青年海外協力協会中国支部と「地球ひろば」を運営します。外国の言葉遊び文化などを体験できるコーナーがあります。

英語でガイド!講座「狂言編」

古典芸能「狂言」について英語で説明する表現方法を学びます。講座で狂言の概要と演目について学び、最終日には外国人にガイド実践と狂言公演の鑑賞をします。
※対象:英検2級以上または同程度の英会話ができる15～30歳の青年
開催日:全5回
①11月9日(土) 17:00～19:00 概要講座1
②11月16日(土) 17:00～19:00 概要講座2
③11月19日(火) 18:30～20:30 演目講座1
④11月26日(火) 18:30～20:30 演目講座2
⑤12月7日(土) 17:00～21:00 ガイド実践と狂言公演鑑賞

日 上記の通り 全5回 時 上記の通り 費 無料 定 20名
場 中区加古町4-17 JMSアステールプラザ
問 JMSアステールプラザ 担当者:山田
TEL:082-244-8000 mail: hiyv@hiyh.pr.arena.ne.jp

こちらJICAデスク



広島から世界へ!
いつか世界を変える力になる!
広島から世界へ! 2019年12月上旬より、広島県出身の
JICA海外協力隊10名が世界へ向けて出発します!(予定)



| 区分 | 男性 | 女性 | 合計 |
|-------|----|----|----|
| 青年 | 15 | 16 | 31 |
| シニア | 11 | 1 | 12 |
| 日系青年 | 1 | 0 | 1 |
| 日系シニア | 0 | 0 | 0 |

2019年7月30日時点

<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目線で途上国の課題解決に取り組みます。また、帰国後も現地の経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか?!

帰国隊員レポート ～ガーナ共和国篇～

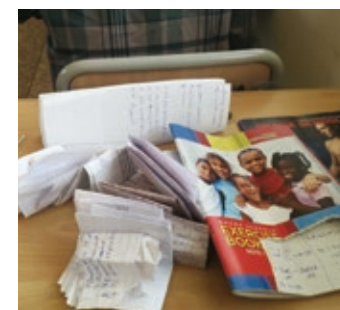


ガーナ共和国
西アフリカに位置する共和国
【概要】面積:238,537平方キロメートル
人口:2,883万人
首都:アクラ
公用語:英語(その他各民族語あり)
宗教:キリスト教、イスラム教、その他伝統的宗教等

職種:自動車整備 井原 大地さん

現地での活動内容

ガーナ中部にあるスヤニ技術大学で自動車整備の講師として2年間活動しました。同僚の教員と協力して実技授業を実施したり、定期試験でのカンニングが至極一般的なガーナでカンニングを防ぐために見まわりを強化し、学校へは規則順守を進言したりしました。また、大学の長期休暇中は、バイクを使用して活動を行っている隊員のバイク整備も行いました。その他にも、日本の自動車整備の教科書を英語に翻訳してJICA事務所や大学に配布しました。後任の自動車整備隊員が活かしてくれることを願っています。



▲回収した大量のカンニングペーパー



▲授業風景

ガーナってこんなところ!

正確な場所はわからなくても、日本でガーナという国を知らない人はいないのではないのでしょうか。チョコレートでお馴染みのアフリカ西海岸にある暑くて乾燥した国です。時期によっては飛行機が飛べなくなるほどの砂がサハラ砂漠から飛来することもあります。反対に、ガーナの人たちも日本のことは正確には知らなくても、お金持ちで自動車と家電を作っている国という認識は持っています。ガーナは「ピースフルカントリー」だと紹介されることが多く、実際に友好的で感情に素直で陽気な人たちがたくさんいました。



▲ガーナで出会った少年

ガーナの食事

キャッサバやトウモロコシ、プランテン(バナナ)を粉にして練ったものが主食になります。種類はありますがどれも見た目はお餅みたいで、それをスープに浸して魚や肉と食べるのが一般的な食事です。各町にマーケットデーとして決められた曜日があり、行商が来て人々は市場に新鮮食品を買いに行きます。北部にはイスラム教徒が多く、南部にはキリスト教徒が多いので食事の文化も地域により少し違いがあります。共通して言えることは食事の際は右手しか使ってはいけません。またガーナでは、カカオはチョコレートとして食べるよりも、粉末のココア飲料として一般的に親しまれています。



▲カカオの木 ▲カカオ豆の天日干し ▲ガーナでの一般的な食事

井原 大地さんプロフィール

呉市出身。県立広島大学人間文化学部国際文化学科卒業。大学卒業後、二輪整備士、四輪整備士として民間企業に勤務。2017年3月から2019年3月までガーナに自動車整備隊員として派遣される。

参加のきっかけ

大学で歴史を学び、アフリカに行きたいと思ったことがきっかけです。行くからにはただ行くのではなく、現地の人たちの役に立つ技術を教えられる立場で行きたい、と自動車整備士になり青年海外協力隊に参加しました。

参加して思うこと

日本では試験時に不正行為を行うことは悪いこととされていますが、ガーナではそうではありませんでした。その中で、彼らにとってどこか遠い国からやって来た外国人が、誇り高いガーナの人たちを指導することには難しさがありました。二度とカンニングをしないと誓ってくれた生徒でさえ、次の試験で早速カンニングをしていました。個人の利益が社会の不利益になっているのを見て、とても悲しかったのを覚えています。現地の学生たちの力になれたとはっきりとは言えませんが、何年か何十年か先に、私が見せていた行動の意味を悟ってくれることを願っています。

「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

HIC article: Shameera Kithminiさん (Sri Lanka)

I am Shameera Kithmini and currently reading for Masters in Peace and Co-existence in Hiroshima University. I have stayed in Hiroshima International Plaza for one year as a member of the Global Relations Program (GRP). This Program helped me to adjust to the life in Hiroshima very easily. I was welcomed to this very comfortable place by the HIP and HIC staff warmly. I could not only meet and could be friend with foreign students who studies in Hiroshima University but also foreigners who arrived Japan for short courses which were conducted at HIP. GRP Meetings which held monthly allow us to distress ourselves while having a chat and tasting snacks with other GRP members.

Here, I should particularly mention about the facilities which I enjoyed very much while my

stay at HIP. I often use the library at HIP to advance my Japanese language and I always recommend it to my foreign friends. I could enjoy sport activities such as badminton, basketball with my friends at the gymnasium and have an evening jogging at park in front of HIP. Cultural events such as Amazing world cultural festival, Japanese traditional instrument playing, mini music concerts, tea ceremony, Okonomiyaki cooking and other events such as bus tours deepened my affection towards Japan and Japanese people. Also, I was fortunated enough to share my country cuisine with Japanese locals which I enjoyed very much. HIP is the best place while studying and enjoying the life in Hiroshima.



グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、9ヶ国15人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生1名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料(2019年10月1日～)

1泊800円 管理費2,550円/月

月額24,950円～27,350円

(水道光熱費込み)

★現在、今年秋からの入居者を募集中です。詳しくは「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください。

ケニアとブルキナファソから～アフリカの風・響き～LIVEを開催します



- 日 時:2019年10月13日(日)の15:30～17:30
- 会 場:広島市安芸区民文化センター(広島市安芸区船越南3丁目2-16)
- 入場料:一般 1,500円,学生・会員 1,000円,小学生以下 無料

出演者は、アフリカのキベラスラムで寺子屋マゴンスクールを運営する早川千晶さん。8年間ケニアに住みドゥルマ民族の伝統音楽を継承した大西匡哉さん。そして、ブルキナファソ人伝統音楽家のベノワ・ミノゴさん。アフリカの大地のエネルギーを存分に伝えるパワフルなトーク&ライブを、ぜひお楽しみください!

このコンサートは、アフリカやマゴンスクールの支援のために開催するものです。多くの方のご来場をお待ちしています。



▲イベント詳細はこちら

交流部&留学生活躍支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。

研修部(ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

(情報センター・図書室・NGO交流室) ※情報センター・図書室は平日
12:30～13:30閉館です。臨時
月～土 10:30～19:00※ に閉所する場合は、HPで随時
お知らせします。

